

必勝を期して

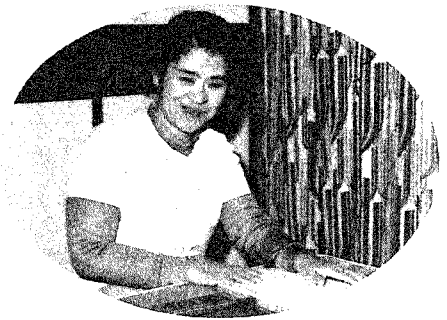
1月3日、軟式野球（少年男子）の「都留かいじクラブ」は、市内の金山神社へ初もうでし、今年の関東大会、来年のかいじ国体での勝利を祈願しました。

境クラブが全国大会へ

県下綱引選手権大会優勝

山梨県綱引連盟・テレビ山梨主催の第三回山梨県綱引選手権大会が昨年十二月二日（日）県立体育館において、一四八チームの参加で行われました。この大会は、全日本綱引選手権大会代表選出を兼ねて行われました。

境クラブは、第二回大会に初参加で第四位の成績をおさめ、今回は練習を重ね優勝を狙っての参加です。A・B二チームが参加し、Aチームが予選二試合、決勝トーナメント五試合を連勝、見事優勝の栄誉を勝ち取りました。綱引大会は、一チーム十二



山梨婦人ヒューマン記録大賞奨励賞を受ける

県立総合婦人会館がオープン一周年を記念して募集した「山梨婦人ヒューマン記録大賞」に応募した長田美智子さん（田野倉・四十六歳）は、奨励賞を受賞しました。この奨励賞は、応募総数九十四篇のなかから選ばれた五作品のうちの一つです。

長田さんは「出会いこそ人生の宝」と題し、常に前向きな姿勢で生きつづけてきた半生を点字原稿で七十五枚（四百字詰め原稿用紙五十枚分）につづり応募しました。

長田さんは、「出会いを大切にすれば良きともに巡り会える」と、人と人との出会いを大切に、周囲の人に感謝の気持ちを忘れずに頑張っています。

都留インターの利用増加

昨年十一月三十日、都留インターに東京方面からの出口が開設され、ほぼ二カ月がたちました。

日本道路公団大月管理事務所がまとめた利用状況によると、出口が開設されたことから入口の利用車両も増えていきます。

昨年十二月の利用車両は、一日平均二、二〇一台（内訳は、入口一、二七五台、出口九二六台）です。入口だけの比較でも一昨年の利用車両一日平均一、〇九七台に比べ約一六%増加しています。

また、利用が増えた中央自動車道側道に交通標識（一時停止や速度制限など）が整備されました。

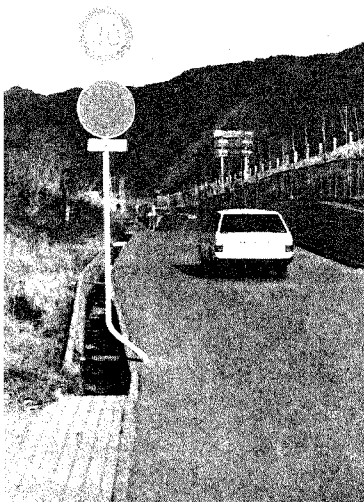
名（監督、コーチ各一名、選手八名、交代要員二名）で選手八名の体重を合計して五六〇kg以下、綱の長さは三十六mなど競技ルールが決められています。

境チームは、全国大会（代々木第二体育館・二月九日）を目指し、毎日東桂小体育館で夜八時から十時まで練習を続けております。

大会の様子は、二月十日TBSテレビで放映されます。

＊境クラブAチームの紹介＊

監督 伊藤勲、コーチ 杉田栄、選手 山崎孝弘、米山孝治、志村保夫、杉田実、磯村導良、杉田桂一、米山康夫、米山誠、渡辺敏彦、天野春夫（敬称略）



△側道に整備された交通標識